鶴岡市社会福祉協議会





鶴岡市立櫛引西小学校では「年をとるってどんなこと?」をテーマに、4年生(24名)が今年1月に2回の福祉学習を行いました。今回の福祉学習では「相手を思いやる気持ちや、困っている人に対し自然に手を差し伸べることのできる温かい人になってもらいたい」と、高齢者の特徴や老いについての授業を行った後、高齢者疑似体験を行いました。

疑似体験では高齢者役の児童が、視野が狭くなるゴーグルや、腰を強制的に曲げるベルトなどを身に付け、介護者役の児童のサポートを受けながら、階段の昇り降りや水飲みなど高齢者になったと仮定して日常生活を体感しました。子どもたちは「腰は痛くなるし、足が曲がらなくなってとっても大変でした。おじいちゃん、おばあちゃんに"大変だったらお手伝いするよ"と声をかけたいです。」と、この体験を通して感じた気持ちを話してくれました。

子どもたちが感じた「優しい気持ち」や「温かい気持ち」は、今後予定されている老人デイサービスセンター 等の施設訪問を通じて、おじいちゃん、おばあちゃんに、愛らしい笑顔とともに届けられることでしょう。

シルクガールズと語る

ら始まったといわれています。 持ち替え、 ています。この歴史は、明治時代 物の全ての生産工程が現在も残っ に旧庄内藩士約三千人が刀を鍬に 庄内地方には、 松ヶ丘を開墾した事か 全国で唯一絹織

生徒が「シルクガールズ」として 政科学系列(以下、中央高校)の ズ・プロジェクト)。 て四年が経ちます(シルクガール この絹文化の伝承に取り組み始め 鶴岡中央高等学校・総合学科家

しました。 職員とで「みんなにやさしいまち」 ションショーにも挑戦しています。 利用者の方をモデルとしたファッ 度からは市社協の施設と共同して をテーマにした「座談会」を開催 たちの取り組みに携わった市社協 そんなシルクガールズと、彼女 その一環として、平成二十四年

出会い

〜ファッションショーを通して〜

ます。 司会 と自分たちから行動できるように 最初は先生にあと押しされながら えるとは思っていませんでした。 なにたくさんの人に関わってもら **千晶さん**

企画

した

当時は、

こん 業所の利用者さんをモデルにファ 出会った方々にとても感謝してい なり、このファッションショーで 行動していましたが、後半になる 考え方が変わっていきましたか? けですが、企画を実施する中で何か ッションショーを企画してきたわ 五十嵐
今回いろいろな事

ラボは今年で二年目になります。 **本間所長●**シルクガールズとのコ きっかけは、 鶴岡市から話があ

多いのですが、中央高校の ものを優先して考える事が

シルクガールズ 丸山 千晶さん/鶴岡中央高校三年生 (リーダー・総合学科家政科学系列)

シルクガールズ 阿部 咲希さん/鶴岡中央高校三年生 (総合学科家政科学系列) 岡部あけみさん/鶴岡中央高校教諭

本間志保子/鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま所長 阿部 信子/老人デイサービスセンターふれあい所長 長谷川真弓/中央児童館館長

高齢者福祉施設 児童福祉施設 障がい福祉施設 五十嵐 | 昇/鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま就労支援専門員

ったより緊張せずに楽しめました!!.

(「かたぐるま」より男性モデルで出演)

ました。

今年度は昨年度よりも

シルクガールズの皆さんは、

と心の部分を大切にしてい おしゃれも楽しんでほしい

て、そうした思いに感動し

初めて参加しました。 本番は眠くなる時間帯の為

「こんなポーズは、どう?」(「中央児

ルでした。

私たちは普段、機能的な

できない車いすの方がモデ

ら協力していただきました。

年目は自分で動く事が

ながると思い、中央高校か

出来たら、利用者さんの笑顔につ

族で飼育していく中で、このシル たぐるま」(施設)という一軒の家

った「かいこ」の飼育でした。「か

ありがとうございました。

ョンショーになったと思います。

がってすばらしいファッシ 人々のつながりや思いが広

長谷川館長・中央児童館は今年度

クを使ってファッションショーが

童館」より親子モデルで出演)

堂々と活き活きしていて、 ずかる」等が心配されたのですが 的でした。 目線のポーズや笑顔がとても印 実際のステージでは子どもたちが カメラ

れたり、 思います。 ガールズの皆さんが声をかけてく 嬉しさを感じていたようです。 れました。 のワンポイントをデザインしてく な色を聞いてくれたり、 ョンショーに出演した子どもにと その成功の裏には、 本番の待ち時間では、 お母さんと一緒だと思う 親子を思う配慮が感じら それを付けてファッシ 安心感につながったと 初めに好き 親子 シルク ま

「衣装もとても素敵でした。大満足 です!!」(「ふれあい」より女性モデル

で出演) クガー また、 ルズとして企画 生徒たちがシ

す。

って、 みました。 ファッ ヨンショー を楽し

重で良い経験となり、教科書にはな て成し遂げた、その事はとても貴 合せから運営実施まで責任を持

沢山

の勉強になったと思い

・ます。

域の皆さんにファッションを楽し

んでもらえたらいいなと思う気持

葉を知り、勉強していくうちに、

でも、ユニバーサルデザインの言

分たちだけでなく福祉施設や、

ちに変わっていきました。

事で、 した。 明るく元気で、 関わらせていただきましたが、 じました。そういう事に気付けた ている姿がとても女性らしいと感 指 H 今年度もファ 輪を持ってきてくれて、 一人の方が真珠のネックレ 自分たちの見方も変わりま 活き活きとしてい ツ シ 日 ン さらに 3 こスと] 当

クガールズになります。 **岡部先生●**今年度で四代目 0) シ ル

着たい物を作って自分たちで身に り組めないかと考え、自分たちの トでした。 着けて地域に発信した事がスタ のと自分たちの勉強を重ねて取 初 は地域を知り、 地 域に あ

b

たぐるま」とコラボする事になり 三代目のシル てい と声を出してもらった事 んな風に思っていただい ました。一緒にやりたい たま 自分たちの活動をそ クガ が嬉し 1 ルズで かったで ーか

ズの皆さんにシルクの草木染を習

阿部所長●昨年度、

シルクガール

いが大変すばらしいと感じました。

干晶さん。私たちはファッ

ショ

〜ユニバーサルデザインから〜

を楽しむ考えが優先していました。

そういった発想や気遣い、

心遣

岡部あけみ 先生

会場設営することも含めてユニバーサル デザインにつながると生徒と共に気付い た時、やりがいにつながっていきました。

出来たと思います。 が広がり、 インの考えがあって、 でもモデルになれる会場づくりや を考えて進めていきましたが、 着る人が着やすいデザインや素材 ろいろな所にユニバーサルデザ めはドレスだけを意識し 将来にも役立つ学びが 自分の考え て、

咲希さん●企画当初は皆さんと 態でした。 容についてはあまり分からな でした。 緒に挑戦したい気持ちでいっぱ いう言葉は知っていましたが、 ユニバーサルデザインと 内



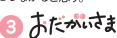
丸山千晶さん

一人ひとりの気持ちひとつで人を笑顔 にすることができる。



阿部咲希さん

をすごく思いやることがやさしいまち



えていましたが、次第に会場設営 初めはドレスの制作の中でのみ考 ョンショーを成功させる事が出来 などでも意識した事で、 自分でも意識するようになり、 山の人から教えてもらいなが ファッシ

思っています。 つながるたくさんの事が学べたと 皆さんと出会えた事で、 未来に

シルクガールズの活動を支えてく 岡部先生・実際の活動を通して、 ています。 地域の方々に生徒ともども感謝し ようなことを教え導いてくださる 生徒は気付き成長しました。 れる人がたくさん地域にいる事に、 その

思います。 はどんな人からも知ってもらいた るま」で出来る事の一つだったと たいと思っている中で、「かたぐ 本間所長●ユニバーサルデザイン いし、住みよい地域づくりに努め

司会 たから、会場の段差をなくしたり ョンを楽しもうという思いがあっ デザインとは建物や、物だけでは やはり気持ちや意識だと思 五十嵐・私はユニバ みんなが一緒にファッシ ーサル



「手、振ってもいい?」(「中央児童

館」より親子モデルで出演)

ンショーの成功につながったと思 ステージを広くしようと考えたの それがファッショ

ていきたいと思います。

今年度の活動を通して、一人ひ

る事で相手が喜んでくれる事をし した。これからは、自分が行動す

ンティアに興味がでてきま したが、今回の活動でボラ をしようとは思いませんで ら進んでボランティア活動 干晶さん

今までは自分か

だと思います。

います。

~これまでの取り組みを通して~

以前は、 思いやる事が「やさしいまち」に **咲希さん**私はボランティア・イ 精一杯の事をすると、 を深くまで考えて、 たいという気持ちに変わりました。 つながると感じました。相手の 今回の活動を通して一緒に楽しみ んのお手伝いと考えていましたが ンターアクト部で活動しています。 活動を通して、相手の事を考え ボランティアは利用者さ 自分が出来る 相手だけで 事

持つ事が大切だと思いました。

地域福祉って?

考えができ、みんなが笑顔になる 持ちのおかげで、ユニバーサルな が出来ると分かりました。その気 とりの気持ち一つでいろいろな事

活動ができたので、その気持ちを

咲希さん私もそう思います。 障がいのあるなしなどの差別がな **千晶さん** 高齢者とか子どもとか った事が地域福祉だと思います。 なれたりする環境づくり、 顔になれてほっとしたり、 自分たちの周りのだれもが笑 そうい 幸せに お

はなく自分もいろいろな事 ができました。 を学んだり感じたりする事 切な事だと思います。 せになる事は地域福祉にとって大 互いに相手の事を思って一緒に幸

よいまちになっていくのではない 事から始められれば、鶴岡のみん 差のない人との付き合いを考える とても大切な事だと思います。 でしょうか? ながそう思う事ができれば、より 最初から段差のないまちや、 段

す。今日はどうもありがとうござ 事が地域福祉ではないかと思いま いました。 そんな風にみんなが互いを想う



ルクガールズを囲んで「みんなにやさしいまち」 **小について語り合う皆さん**



司会

五十嵐●皆さんが心のユニ

バーサルデザインを意識した事は

避難者の皆さんと地域の交流

1月19日(日)に「避難者・支援者交流"新春もちつき交流会&寒鱈まつりツアー"」(市社協主催)を「鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま」で開催しました。

前半の"新春もちつき交流会"には避難者55名を含む98名が参加され、杵と臼とで餅をつき、あんこ餅、海苔餅、福島の郷土食"じゅうねん餅"(エゴマのことを福島では"じゅうねん"と呼ぶそうです)を作り、大人から子どもまで楽しみながら美味しくいただきました。

交流会には、山形大学農学部のボランティアグループの皆さんや、インドネシアからの留学生の皆さんも参加し、自分たちで育てて漬け込んだ赤カブ漬けを、参加者の皆さんへ差し入れて下さいました。

今回のイベントは、昨年山形県が設立した"やまがた避難者支援協働ネットワーク"を通じて、庄内地方の各支援団体に情報提供したことから、市外の避難家族の皆さんにもご参加いただき、庄内地方に来て以来、初めて同郷の方との交流を楽しんだという方もいらっしゃいました。



「いや~うめぇ~ごど!! この寒鱈汁」

後半は、バスで銀座通りに移動し"日本海寒鱈まつり"に参加。アツアツの寒鱈汁を食べたり、威勢よく販売している地元の屋台や石巻物産コーナーを見て回ったりしながら、賑わう"まつり"の雰囲気を楽しみました。参加者の皆さんの中には「初めて来た」という方も多く、寒い中でも大勢の人出に驚いていました。

まもなく震災から3年が経ちます。市社協では避難者・地元住民を問わず、"新しい出会い"や"つながり"から元気をもらって生活しようとする皆さんの応援を、これからも継続していきます。

平成25年度共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい) ご協力ありがとうございました!

募金実績

◇募金実績総額 21.535.474円

◆募金内訳

戸別募金17,296,974円街頭募金344,690円法人募金1,152,476円学校募金635,170円職域募金1,385,676円その他の募金(イベント・窓口等)720,488円



募金の使われ方

◇山形県共同募金会へ送金 16,506,474円

山形県共同募金会を通じ、平成26年度の配分と して、県内の福祉団体活動や福祉施設の整備、地 域福祉事業などへ配分されます。

◇歳末たすけあい配分 5,029,000円

市内の経済的に支援を必要とする世帯や、児童 養護施設の入所児童・生徒に、今年度の義援金を お届けしました。



i)情報掲示板

平成26年度「ふれあい福祉相談」のご案内

●常設相談

失業や病気などにより、一時的に生活の維持が困難となっ た世帯に対する貸付相談や、判断能力に不安がある方への日 常的な金銭管理(福祉サービス利用援助事業)等の相談に、 職員が応じています。

日 時:月~金曜日(祝日を除く) 8:30~17:15

場 所:各福祉センター

●巡回弁護士相談(無料・要予約)

毎月1回、各センター持ち回りで開催しています。予約は 開催日の1か月前から受付となります。

4月16日 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

5月21日(水) 10:00~15:00 藤島福祉センター

6月18日(水) 10:00~15:00 朝日福祉センター

7月16日例 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

8月20日 310:00~15:00 羽黒福祉センター

9月17日 (水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

10月22日 3 10:00~15:00 温海福祉センター

11月19日 3 10:00~15:00 櫛引福祉センター

12月10日 3 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

1月14日め 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

1月28日め 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

2月18日例 10:00~15:00 鶴岡福祉センター 3月4日(水) 10:00~15:00 鶴岡福祉センター

3月18日 3月18日

※相談は予約制となります。各日程の1か月前より予約可能です。 ※日時・会場変更の場合は別途広報「つるおか」でお知らせします。 ※相談時間は御一人30分、料金は無料です。

シルバー110番! 一人で悩んでいませんか?

◇一般相談

日常生活で心配なこと、困った事、来所・電話ど ちらでも、お気軽にご相談ください。

月曜日~金曜日(9:00~17:00)

*高齢者やご家族など。

◇専門相談(要予約)(13:30~16:00)

- 法律相談(弁護士) 月曜日
- 税金相談(税理士) 偶数月第1水曜日
- 認知症相談(社会福祉士等) 火·金曜日

「認知症」の事で悩んでいませんか?

◇こんな時どうすればいいの?

- 父が、母が、この頃、 何だか以前と違う!
- 介護に疲れた…。
- 話を聞いてほしい。
- 誰にも相談できない。



相談は無料です。秘密厳守。 **2023-622-6511**

山形県高齢者総合相談センター (山形県社会福祉協議会)

山形市小白川町2丁目3-30

ご寄付ありがとうございました

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

(株) 莊内日報社 様 100.000円 弦木 作美 様、佐藤 誠 様

DVD写真集 (9本)

(株)マルハン鶴岡店 様 車椅子(1台) 佐藤 洋子 様 50.000円 真如苑 山形支部 様 佐藤 義彰 様 10.000円

◎藤島福祉センターへ 藤島地域婦人会 様

◎羽黒福祉センターへ 鶴岡市立羽黒第二小学校 様

三山大愛教会 上林千祥 様 300,000円

マルチメディア・スピーカー (一式)

◎温海福祉センターへ

(株)クアポリス温海 しゃりん 様 30.000円 丹治 敏 様 10.000円

★東日本大震災の避難者支援へ

天理教婦人会 羽前委員部 様 10.000円 草の根交流によるコンサート実行委員会 様 250.000円

200,000円 ★地域福祉センターなえづへ

りんご (3箱) (株)産直あぐり 様

★老人デイサービスセンターおおやまへ ★鶴岡老人福祉センターへ 工藤 七三郎 様 門松 (一対)

★鶴岡西部児童館へ

冨樫 廣志 様

★くしびきデイサービスセンターへ

(株)産直あぐり 様 りんご (4箱) 櫛引地域婦人会 様 タオル400枚

★温海デイサービスセンター愛寿園へ 10.000円

丹治 敏 様 ★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

スマイルサンタクロース 様

クリスマスケーキ等 (10個) (株)産直あぐり 様 りんご (3箱)

加藤 康守 様

ローラー式マッサージ機器(1台)

学用品一式 ★ボランティアセンターへ

滑り止め手袋・軍手 佐藤 一郎 様

おだがいさ

平成26年3月1日発行 発行部数 49,300部



編集・発行

5,000円

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階) TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター TEL 24-0053 藤島福祉センター TEL 64-3100 羽黒福祉センター **TEL 62-4534** 櫛引福祉センター **TEL 57-5300** 朝日福祉センター TEL 53-2795 温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。